

## 建設産業常任委員会所管事務調査報告書に係る報告

## 3 委員会として一致した意見

## (1)「市内企業のICT化とものづくりの魅力発信について」

## ア 市内企業のIT導入推進に向けたIT人材の育成

市内企業においても、デジタル化やDX(デジタルトランスフォーメーション)が急速に普及し、オンラインを活用した新たな事業展開や売上向上に資する取組を実践している企業が増えつつある一方で、IT等の活用に取り組んでいない、または取り組むことが難しい企業も一定数いることも事実である。

市内企業のICT化を進めるためには、ITを導入していない事業者への支援策を拡充させることが必要不可欠であり、その支援策の一つとして「IT人材の育成」があげられる。

市内企業のICT化とは、人材育成を含めてのことであると課題認識した上で、第6次総合計画前期基本計画の中で課題として示されている「Society5.0 への対応に向け、データ分析やAIの活用等ができる幅広い専門人材の育成支援が必要になっている」という市の見解を具体的な施策として取り組むことを求める。

令和3年度に市内企業のICT化に関する事業者アンケートを実施し、それらの取組状況を9段階に分けて把握したところです。

今後とも、Society5.0への対応に向け、市内企業がどの段階で足踏みしているケースが多いのかを見極め、先進的な事例を紹介するDXフォーラムや各種セミナー開催による啓発に加え、DX化に向けた事業補助金支援を実施することで、市内中小企業のIT人材育成のための取組みを進めてまいります。

また、ICT導入のイロハから最先端のIoT技術の導入など、幅広く市内中小企業のICT化と人材育成の底上げを図るため、中小企業サポートセンターのITコーディネータを活用した支援を進めてまいります。

**また、施策に取り組むに当たっては、事業効果を高めるため、商工会議所や「みせるばやお」との連携の手法を模索されたい。**

「みせるばやお」のプロジェクトの一つとして「IoT勉強会」や「IT道場」を実施しており、それらに参加した中小企業のDX化の実践事例を他の企業にも波及する機会として、府や本市との連携事業としてDXフォーラムを開催しており、中小企業サポートセンターでは現場での個別相談のほか、「みせるばやお」に月に1回、ITコーディネータを派遣し、相談対応するなど企業のIT化支援を進めてまいります。今後とも、IT人材の育成機会を「みせるばやお」の場を活用して実施してまいります。

また、商工会議所においても、個別相談業務を実施するほか、会員限定として、視察研修やセミナー開催を実施しており、引き続き、商工会議所や「みせるばやお」と連携を図り、現状把握とIT導入に向けた取り組み支援を進めてまいります。

#### **イ 市内企業のIT導入推進に向けた情報発信等**

ITを活用していない事業者の中には、その導入にコストがかかり、効果やメリット、必要性が分からず、導入に向けた検討もできていない事業者が一定数存在することが判明した。

そのような事業者に対して、IT活用に関する課題や不安などを払拭できるように、導入によるメリットや費用対効果などについて、事業者にとってわかりやすい情報の積極的な発信や丁寧な相談対応などを行われたい。

市内企業のIT導入推進にあたっては、DXフォーラムや、セミナー開催、個別相談対応の中でIT化の必要性や不安を払拭できる内容も盛り込むとともに、新たな課題の洗い出しのための事業者アンケートやヒアリング調査を実施し、支援メニューに追加できるようにしてまいります。

#### **ウ 市内企業の実態把握と定量的な目標設定**

ICT化を含めた八尾市の産業政策を考えたとき、部分的な統計ではなく、製造業と非製造業全体の

**実態を把握した上で、明確な数値目標を設定して取組を進める必要がある。またその目標を達成するために、ターゲットを絞りながら戦略性を持った取組の展開と施策の評価を実施されたい。**

具体的な課題抽出には、事業者アンケートやヒアリング調査が効果的であります。産業政策全体を考えていく際には、ご指摘のマクロ的な数値の把握が必要と考えております。本市全体の産業データは国における経済センサスデータにて把握することになり、数年のタイムラグが生じるものであります。本市の付加価値額や労働生産性といった数値データを時系列に把握し、更なる産業振興に向けた支援策を戦略的に実施していきたいと考えております。

#### **エ ものづくりの魅力発信に係る定量的目標の設定**

**ものづくりの魅力発信に係る施策は様々に実施されており、企業同士の横のつながりを生かした情報発信や商品開発が進んでいることが確認できた。**

**今後は、これまで行ってきた事業の効果を検証しながら、その施策と結果が連動していることが把握できるよう、定量的な目標を設定しながらさらなる取組を進められたい。**

第6次総合計画に位置づける施策9「地域経済を支える産業の振興」において「中小企業におけるイノベーション実践数」など、KPIとして各種指標を示しているところであります。引き続き、数値目標を達成するための支援策を実施していくとともに、令和4年度からの3か年については、地域再生計画においても、新商品開発数についても3か年で30商品の数値目標を設定しており、目標達成に努めてまいります。

#### **オ 魅力創造部で連携したものづくりの魅力発信**

**中小零細企業支援における、ものづくりの魅力発信の大きな目標は、企業の売上げや販路の拡大と、雇用の創出であるということが確認できた。**

**その目標をさらに進めるため、あらゆる世代や主体に対して、八尾のものづくりの魅力を伝えること**

ができるように、観光・文化財課などと観光施策の観点でも連携を図りながら、魅力創造部全体で事業を進められたい。

本市のものづくりの魅力発信は、市内中小企業のブランド力向上やシビックプライドの醸成等につながるものとして、これまでも市民がものづくり現場を体験できるオープンファクトリーの推進などの取り組みを進めてまいりました。今後は、地域住民と企業との相互理解を深めるためにも、コミュニティ活動支援を促進する仕組みを構築するとともに、産業観光の観点や発信力強化を重視し、観光・文化財課をはじめとした関係各部署との連携に取り組んでまいります。